

公益社団法人出水郡医師会  
令和 7 年度 第 11 回定例理事会議事録

開催日時：令和 8 年 2 月 10 日（火）19:30～20:51

開催場所：出水郡医師会会議室

理事現在数及び定足数：現在数 11 名、定足数 11 名

出席者：理事 9 名

〔本人出席〕 來仙隆洋、黒木康文、中村直英、朝倉孝弘、永松省三、新富義侯、  
辺木文平、内匠拓朗、原 善根

〔監事出席〕 今村 章

〔事務部〕 尾上博美、新藏光明、原田あかり

議 事：

〈報告事項〉

1. 会報編集委員会(1/5)
2. 令和 7 年度第 2 回北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議(1/22)
3. 令和 7 年度阿久根市地域ケア会議代表者会（1/23）
4. 准看護学校
5. 附属阿久根看護学校
6. 広域医療センター
7. 第二病院
8. 各支部報告
9. 県理事報告
10. その他

〈承認事項〉

1. 共催・後援依頼について
2. 令和 8 年度出水市母子健診計画の医師推薦について
3. 令和 8 年度阿久根市保健事業計画の医師推薦について
4. 令和 8 年度・令和 9 年度阿久根市小・中学校学校医の推薦について
5. その他

〈協議事項〉

1. 令和 8 年度当初予算（案）について
2. 令和 8 年度「親子ふれあい健康教室」の実施について
3. 令和 8 年度肺炎球菌ワクチン予防接種（定期接種）の接種費用について
4. 令和 8 年度 R S ウイルス予防接種（定期接種）の接種費用について
5. かごしまドクター便りの原稿執筆者推薦について
6. 第 33 回北薩 5 医師会親善ゴルフ大会競技委員の推薦について
7. 阿久根看護学校の現状について
8. その他

添付資料

- 資料 1 広域医療センター運営状況報告  
資料 2 第二病院理事会報告  
資料 3 県理事報告資料  
資料 4 令和 8 年度出水市母子健診計画の医師推薦について  
資料 5 令和 8 年度阿久根市保健事業計画の医師推薦について  
資料 6 令和 8 年度・令和 9 年度阿久根市小・中学校学校医の推薦について

## 資料 7 阿久根看護学校の現状について

### 別添資料

#### 令和 8 年度当初予算（案）について

#### 《報告事項》

1. 会報編集委員会 中 村 副 会 長  
令和 8 年 1 月 5 日（月）医師会会議室で開催された。  
新年号の校正及び春の編集方針について協議。春の巻頭言は、出水警察署長にお願いすることとなった。

2. 令和 7 年度第 2 回北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議 来 仙 会 長  
令和 8 年 1 月 22 日（木）19 時～ 川薩保健所で開催された。  
議事

#### 1) 報告事項

- ア 令和 7 年度第 1 回北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議の協議結果について
- イ 令和 7 年度第 2 回川薩保健医療圏病床機能別専門部会合同部会の協議結果について

#### 2) 協議事項

- ア 令和 7 年度地域医療介護総合確保基金事業補助金（病床機能再編支援事業）の活用希望について（具体的対応方針の変更を含む。）

#### 3) その他

地域の支援に関する病院は 2 つ手揚げしてくださっているが、どちらも要件をしっかりと満たしている。協議事項ア令和 7 年度地域医療介護総合確保基金事業補助金で、病床を国に返還するところがあれば、この基金を活用できるということだが、出水の方は特に申請されたところはない。高尾野診療所は休床にしていた 40 万円×6 床で 2400 万円となった。

3. 令和 7 年度阿久根市地域ケア会議代表者会 原 理 事  
令和 8 年 1 月 23 日（金）18 時～ 風テラスあくねで開催され、Web で出席した。

- 1) 地域ケア会議について
- 2) 地域包括ケアセンターの事業実施状況について
- 3) 前回の地域ケア会議の継続課題について
- 4) 地域ケア個別会議の実施状況について
- 5) 阿久根市における地域課題の共有及び検討
- 6) 令和 8 年度のケア会議について

課題として、免許返納後の移動手段や生活手段の確保が挙げられていた。福祉タクシー利用助成事業や乗り合いタクシー運行事業の周知を行い、利用を促進していくということであった。また身寄りのない方の支援についても挙がっており、「身寄りのない人への支援マニュアル(案)」を作成中であることが報告された(資料には死亡時の手続きについての抜粋が記載されており、費用の支払い、届け出義務者の明確化、根拠法に基づいた対応のフローチャートなど示されていた)。今後、出来上がっていくと思われる。

#### 4. 准看護学校

新 富 理 事

- 1) 二次入試について  
2月7日(土)受験者辞退。(現在9名入学予定)
- 2) 三次入試は、随時実施予定。
- 3) 令和7年度 第1回運営委員会について(2/5開催)  
2年生 8名全員の卒業が承認された。  
入学者の不足、講師陣の不足、赤字運営はなかなか改善の見込みはありません。  
インスタグラムを行うといったちょっとした明るい話題があるだけであった。  
生徒の健康上の問題とか気になる点があった。

#### 【今後の予定】

- ・2月10日(火): 鹿児島県准看護師試験 試験会場: 鹿児島市国際交流センター
- ・2月12日(木): 献血
- ・2月16日(月)～3月6日(金): 基礎看護実習Ⅱ 1年生(広域医療センター)
- ・2月24日(火): 新入生登校日 (13:30～) 実習衣採寸など。
- ・3月4日(水): 第61回卒業式(14時～)
- ・3月13日(金): 鹿児島県准看護師資格試験 合否発表 10:00～
- ・3月23日(月): 新入生登校日 (13:30～) 物品販売など

令和7年度 学生総数 (令和8年2月1日現在)

|     | 1年生           | 2年生 | 合計             |
|-----|---------------|-----|----------------|
| 学生数 | 8名<br>(内1名休学) | 8名  | 16名<br>(内1名休学) |

(黒木副会長) この会議の時に生徒募集の案は出なかったのか?

(来仙会長) まだこれから三次募集もあるんですけど、川内が元々准看護学校を運営していたが閉校にしたのが、今結構准看護学校に行きたいという学生、希望者がいるらしい。

(新富理事) 全国的な推移で希望者が減ってて、定数も閉校が相次いでいる。更に定員に対しての生徒数の割合も減っているという、全国的にそういう傾向がある。

(来仙会長) データ上はですね。

(黒木副会長) 沖縄は。

(来仙会長) ちゃんとポスターも貼っていただけてますけど、モノレールとかですね。

(黒木副会長) 医師会に話に行かせないといけない。新富先生とかも。

(来仙会長) あんまりちょっと急くのも。一人来てくださればですね、沖縄は。あと伊佐の方もやっぱり准看護学校が閉校しちゃって、去年の卒業式の時に伊佐の方の医療関係者の方が来られてて、こちらの方も当てにしていますみたいな話をされていた。まずは今年10名入学があればいいかなと思ってたが、去年8名だったので。

(黒木副会長) 離島は奄美とか。

(来仙会長) 結構厳しいみたいです。なかなか集まらない。ちなみに野田女子高校の看護衛生科の入学希望者が今年はもう5人しかいない。先生が離島の全てを回ってですね。今までだいたい例年14、5人は入学してたんですけど。

(黒木副会長) 野田女子高校は准看か。

(来仙会長) 准看出た後に高看。なかなか厳しい。やっぱりそこは重々に少子化の影響かという感じがします。

(黒木副会長) 新富先生が言われるように、その赤字を補うことができないというのと、

一つは定員を満たしても赤字。年間どっちも 5,000 万円ずつぐらいの赤字でしょ？

(來仙会長) 准看護学校は 3,000 万円。看護学校はその倍ぐらいですね。

(黒木副会長) 今後、存続を考えないといけない。

(來仙会長) 今日、協議事項で話を行う。

## 5. 附属阿久根看護学校

内 匠 理 事

### 1) R8.1

1 月 5 日(月) 1・3 年生始業(1/6 2 年生)

1 月 13 日(火) 基礎実習 (1/28 日まで)

1 月 14 日(水) 一般入学試験 応募者 3 名

(八代看護学校 1 名、人吉球磨准看護学院 1 名、出水准看護学校 1 名)

1 月 26 日(月) 第 3 回運営・入試・卒業判定会議

(報告事項) 1. 学生の状況について

2. 令和 8 年度一般入学試験応募者等の状況について

3. 学生募集について(二次・三次・四次)

4. 第 115 回看護師国家試験について

5. 鹿児島県学事法制課運営状況調査の結果について

6. その他

1) 第三者評価委員会について

(協議事項)

1. 32 期生の卒業判定について

2. 一般入学試験合格判定について

3. 学則の変更について

4. 精神看護学実習施設変更について

5. 令和 8 年度予算について

6. その他

1 月 27 日(火) 一般入学試験合格発表日

### 2) 今後の予定について

2 月 14 日(土) 一般入学試験(二次)

2 月 15 日(日) 第 115 回看護師国家試験 南近代ビル(福岡市内)  
受験者 11 名(新卒 9 名、既卒 2 名)

2 月 27 日(金) 令和 7 年度講師会議

3 月 3 日(火) 卒業式 14:00~15:00 広域医療センター 4 階ホール

3 月 6 日(金) 第三者評価委員会 15:00~16:00

### 3) 学生の状況(2 月 1 日時点)

|     | 1 年生 | 2 年生 | 3 年生 | 合計   |
|-----|------|------|------|------|
| 学生数 | 14 名 | 19 名 | 9 名  | 42 名 |

※科目履修生が 1 年生 1 名、2 年生 1 名含む

## 6. 広域医療センター

内 匠 理 事

別添[資料 1] 参照

### 1) 1 月の状況について

外来患者平均 132 人/日、入院患者については、一般病棟平均 122 人/日、回復リハ病棟 平均 38 人/日、地域包括ケア病棟 平均 25 人/日、緩和ケア病棟 平均 8 人/日の合計 192 人/日で前月より 5 名増、手術件数 108 件で前月より 6 件減であった。

1 月の診療実績は、外来 66,044 千円(前年対比 79.4%)、入院 336,425 千円(前年

対比 105.4%) で合計 402,470 千円 (前年対比 100.0%) となり、前月より約 10,000 千円の減収となった。

特別・個室利用状況は 96.1% の利用率であった。

また、急性期一般入院基本料 2 の要件

- ・平均在院日数 15.5 日 (21 日以内)
- ・重症度、医療・看護必要度 23.6% (21%以上)

## 7. 第二病院

朝倉理事

別添 [資料 2] 参照

1 月の平均患者数は、医療病棟 50.7 人 (稼働率 88.9%)、介護医療院 66.9 人 (稼働率 95.6%) になっており、全患者数は 117.6 人 (稼働率 92.6%) で推移した。

また、延べ患者数は医療病棟で 1,572 人 (前月対比 105.0%)、介護医療院で 2,074 人 (前月対比 105.1%) になった。

診療報酬は、概算ではあるが医療病棟で 36,522 千円、介護医療院で 36,328 千円、合計 72,850 千円 (前月対比 102.3%) を予想する。

前月比較で、一日平均患者数においては、急性期病院が満床で逼迫していることもあり、年初より増加傾向にある。1 月は新規入院・入所者数が 20 名であったが、退院数も多く緩やかな回復となっている。また、診療・介護報酬も前月比 2.3% 増となった。平均患者数が 112~117.6 人、一時 122~3 人とかいくが、患者さんが亡くなられたりした状況で、入院をコントロールしている状態。

## 8. 各支部報告

山本理事  
原理事

出水支部： 理事会報告を行った。令和 8 年度日曜・休日当番医について協議がなされた。

阿久根・長島支部： 理事会報告を行った。令和 8 年度日曜・休日当番医について、令和 8 年度阿久根・長島の学校医について、令和 8 年度阿久根市保健事業 (健診) 計画 (案) について、警察嘱託医及び検死医の当番について、4 件協議がなされた。

この 2 日後に鶴見医院高野先生より 3 月いっぱい閉院されるという話があった。日曜・休日当番医については急を要する為、出水地区の先生方に配慮しながら、阿久根・長島は再編成した。今のところ事務室には質問等ないとのことなので、それで対応する。

警察嘱託医・検死医についてはまた次回の支部会の時に話し合いが出ると思う。

## 9. 県理事報告

黒木副会長

別添 [資料 3] 参照

### 1) 国保ヘルスアップ支援事業

別添参照

レセプトデーターから適正受診での医療費削減効果の高い患者を抽出して指導書を通知。背景などは資料参照。

### 2) 都道府県医師会長会議

物価上昇に伴う補助金を受けるにはベースアップ加算をとっていることが必須条件となるため通知文が出回っていると思いますが、2 月中に必ず加算

届け出をしてください。

申請方法がだいぶ簡略化されているので、申請されていない所に再度、案内を送る。

## 10. その他

### 《承認事項》

#### 1. 共催・後援依頼について

##### ○ 出水郡医師会学術講演会

|    |                                                                                                                                          |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日程 | 令和8年3月24日（火）19:00～20:30                                                                                                                  |
| 会場 | ホテル泉國邸、Web 併用                                                                                                                            |
| 内容 | 講演：「認知症 ～最近の話題～」<br>講師：出水郡医師会広域医療センター 脳神経外科 部長 細山浩史先生                                                                                    |
| 日程 | 令和8年4月24日（金）19:00～20:00                                                                                                                  |
| 会場 | WEB講演会                                                                                                                                   |
| 内容 | 講演：「地域におけるCKD診療 ～循環器内科医の立場より～」<br>講師：福永内科循環器科 福永 研吾先生<br>講演：「どこにいても変わらない心不全診療<br>～地域を超えて届ける標準薬物療法～」<br>講師：社会医団法人天陽会中央病院 循環器内科 部長 加治屋 崇先生 |
| 日程 | 令和8年4月24日（金）19:00～20:00                                                                                                                  |
| 会場 | ホテル泉國邸、Web 併用                                                                                                                            |
| 内容 | 講演：「改訂版心不全ガイドラインを読み解く（仮）」<br>講師：川崎医科大学 循環器内科 主任教授 <sup>うえむら</sup> 上村 <sup>しろ</sup> 史朗先生                                                  |

##### ○第27回北薩摩消化器疾患研究会（後援）

|    |                                                                                                                                                                                                                               |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日程 | 令和8年3月6日（金）19:00～20:20                                                                                                                                                                                                        |
| 会場 | 出水郡医師会立第二病院                                                                                                                                                                                                                   |
| 内容 | 講演1：「当院で経験した門脈血栓症の症例について（仮）」<br>講師：出水郡医師会広域医療センター 消化器内科 竹中 嵩博先生<br>講演2：「演題名未定」<br>講師：出水郡医師会広域医療センター 消化器内科 松元 琢真先生<br>講演3：「腹部救急への取り組みと知識のupdate（仮）」<br>講師：出水総合医療センター 外科 湯本 信成先生<br>講演4：「緩和手術の2例（仮）」<br>講師：出水総合医療センター 外科 大淵 昂先生 |

承認。

2. 令和 8 年度出水市母子健診計画の医師推薦について

別添 [資料 4] 参照

標記の件、出水市より医師の推薦依頼があり、現担当医師に確認を行いましたので、原案通り推薦することで、ご承認頂きたい。

承認。

3. 令和 8 年度阿久根市保健事業計画の医師推薦について

別添 [資料 5] 参照

標記の件、阿久根市より医師の推薦依頼があり、1 月の支部会で協議の結果、別紙の通り推薦することで、決まりましたので、ご承認頂きたい。

承認。

4. 令和 8 年度・令和 9 年度阿久根市小・中学校学校医の推薦について

別添 [資料 6] 参照

標記の件、阿久根市より医師の推薦依頼があり、支部会で協議し別添のとおり推薦することで、ご承認頂きたい。

承認。

5. その他

《協議事項》

1. 令和 8 年度当初予算（案）について

事前配布資料参照

（尾原課長）それでは、公益社団法人出水郡医師会の令和 8 年度予算（案）についてご説明いたします。本日は事業規模の大きい広域医療センター、第二病院の令和 8 年度当初予算（案）及び資金調達及び設備投資の見込についてご説明させていただき、最後に税理士法人メディカルビジネスより法人全体の予算内容についてご説明頂きます。

資料は A 4 縦の表紙の協議事項 1、公益社団法人出水郡医師会 令和 8 年度当初予算（案）で、県へ提出する公益法人用の予算書（案）になります。

それでは 1 頁をご覧ください。まず、表の見方ですが、1 番左に勘定科目、その右の合計欄は法人全体の合計額になります。そしてその右側、水色部分が公益事業、黄色部分が収益事業等、緑の部分が法人会計で 1 番右が内部取引等消去となっています。それぞれの事業の下に、病院・学校等が事業所毎に分類されています。それでは単位は百万円単位で中科目を中心に主な点についてご説明いたします。最初に水色部分の広域医療センター公益事業についてですが、上から 4 番目の青マーカー、事業収益の予算額は 47 億 6 百万円です。金額の記載はございませんが、前年度当初予算との比較では 3 千 5 百万円の減額になります。主なものは、入院診療収益と外来診療収益になりますが、事業計画に基づき積算したもので、入院診療収益は 37 億 5 千 1 百万円で前年度当初予算比、7 千 6 百万円の増額、外来診療収益は 9 億 1 千 7 百万円で、前年度予算比で 1 億 7 百万円の減額となっております。また事業収益の内訳、1 番下の、その他受託収益は、阿久根市病児保育事業で、2 年目の R8 年度は 1 千 1 百万円を見込んでおります。次にその下の青マーカーの受取補助金等は 2 億 3 千 1 百万円円で、主なものは阿久根市からの公的病院運営費補助金 1 億 3 千 2 百万円、国の賃上げ・物価上昇に対する支援金で 5 千 9 百

万円を計上しております。そして真ん中少し下の青マーカー経常収益計は49億6千3百万円となり、前年度当初予算より約2千6百万円の増額です。

一方、その下の(2)経常費用ですが、まず材料費は全体で10億4千6百万円を見込んでおります。材料費の積算に関しても、事業計画に基づき医業収益に対する構成比率で積算しており、材料費の構成比率はR7年10月末の実績に合わせ全体で21.8%を見込んでおります。その下の青マーカーの人件費については、例年どおり2号俸の定期昇給で、総額27億7千3百万円を見込んでおります。前年度当初予算より約9百万円の減額で、医療収益に対する構成比率は58.2%です。その下の青マーカー、委託費は4億5千5百万円、次の頁1番上の青マーカーのところで設備関係費6億1千9百万円、研究研修費1千2百万円、そして、その他経費を加えた、経常費用計は次の3頁をご覧ください。1番目の青マーカーで52億4千5百万円となり、前年度当初予算より3百万円の増額です。結果、その下の青マーカー当期経常増減額は2億8千1百万円のマイナスとなりました。次に1頁に戻っていただいて、真ん中の収益事業等をご覧ください。広域医療センターには売店家賃と収益その他として、差額ベッド、保育所事業がありますが、金額の大きい、収益その他(広域)の列を縦にご覧いただきますと、青マーカーの4番目の事業収益は9千1百万円で、主なものはその2行下の室料差額収益で9千万円を見込んでおります。そして、真ん中少し下からの経常費用、青マーカー部分は、人件費1千5百万円、委託費2百万円、次の頁の設備関係費1千6百万円等で、次の3頁の1番上の青マーカーの経常費用計は、5千2百万円を見込んでおります。結果2行下の当期経常増減額は、5千3百万円のプラスとなりました。また右側の法人会計(広域)の欄につきましては法人管理費や、公益事業、収益事業に該当しない経費で、主なものは関連大学医局への寄付金等で1千7百万円を見込み、その財源は収益事業等からの繰り入れを同額見込んでおります。結果、R8年度広域医療センターの経常収益計は50億7千1百万円、経常費用計53億1千5百万円、差引経常増減額はマイナス2億4千4百万円で前年度当初予算比で約1千万円の赤字縮小の予算案となります。

(飛松事務長) それでは、第二病院の令和8年度当初収支予算書(案)についてご説明いたします。黄色部分の収益事業の一番左側になります。単位は円となっておりますが、十万単位で中科目を中心に主な点についてご説明いたします。

先ず、上から4番目の青マーカー、事業収益の次期予算額は8億7千1百30万円、月平均7千2百60万円です。増減額は1千6百万円の減額です。主なものは、入院診療収益が4億2千7百80万円、介護医療院介護料収益が3億9千9百10万円、その下の利用者等利用料収益が4千1百10万円です。積算内容につきましては4月から10月までの実績に基づき、医療病棟及び介護医療院の日当円を算出し、一日平均患者数につきましては、これまで満床を目指した数字で算出しておりましたが、今回より直近数年の実績に応じて医療病棟を稼働率91%(一日平均52名)、介護医療院は稼働率95%(一日平均67名)を見込んで積算していることが、事業収益が減額となっている大きな要因となっております。

また、続きます青マーカー受取補助金は、今般示された医療機関賃上げ物価上昇支援で一床当たり合わせて19万5千円支給されることから、1千1百10万円計上してあります。

したがって、雑収益を加えた経常収益計は8億9千6百60万円で当年度予算額より3百70万円の減額となります。

一方、その下の経常費用ですが、事業費の合計は9億4百50万円で増減額は1千3百60万円の減額です。内訳では材料費で医薬品費、医療材料費等合計で5千8百20万円を見込んでおります。材料費全体の構成比率は6.4%です。その下の人件費は2号俸の定期昇給を行い、総額6億70万円を見込んでいます。増減額は5千1百万円の減額で、経常収益に対する構成比率は67.0%です。給与費においては2千4百20万円の減額ですが、前年に令和7年度収支予算書(案)を作成するにあたり、前名誉院長が在籍のもの

と仮定して作成していること、また退職給付費用が1千8百60万円減額となっていることが、人件費の比率を押し下げる要因のひとつとなっております。その下の青マーカー委託費は1億千8百90万円で1千8百20万円の増額です。一番下になりますが、その他の委託費で、2千2百70万円を計上。令和7年中途より請求事務1名、患者さんの食事介助に7名派遣会社より採用している費用を1千3百30万円見込んでいる関係で1千7百30万円の増額となります。

2頁に移りまして、設備関係費は5千1百50万円。その下の青マーカーの研究研修費は2百20万円、3行下の福利厚生費から下に続く廃棄費までの一般経費の合計は7千2百70万円で1千3百10万円の増額です。頁のちょうど真ん中ぐらいにある紹介料に8百30万円計上してありますが、うち6百万円程は特定技能介護外国人を6名採用する予定で仲介業者に支払う手数料が含まれております。

以上のことより、次の3頁に移りまして経常費用計は9億4百50万円となり増減額は1千4百万円の減額です。従いましてその3行下の当期経常増減額は7百80万円のマイナスで、増減額は前年度比1千20万円の増額となる予算(案)です。

以上で第二病院令和8年度当初収支予算書案の説明を終わります。

(尾原課長)最後に4頁の「資金調達及び設備投資の見込みについて」をご覧ください。表の下に事業別・科目別の集計がありますが、老朽化した施設・医療器械のほか、広域医療センターの電子カルテの更新で約6億5千5百万円を予定しております。事業所別の内訳については5頁に、除却資産を含め、記載してございます。これらの設備投資に関しましては経営状況を見据え、優先順位をつけ収支状況をみながら更新を検討することにしております。広域医療センター電子カルテについては電子カルテ用の特定資産積み立て2億円を利用することとし、本予算案では長期借入の予定はございませんが、経常増減額がマイナス予算で財務的に厳しい状況が予想されますのでリースや割賦、または当座貸越での資金調達も検討しておく必要があります。

以上で、広域医療センター、第二病院当初予算案、資金調達及び設備投資の見込みについての説明を終わります。次に税理士法人メディカルビジネス小林税理士よりご説明をよろしくお願いいたします。

(小林税理士)公益社団法人出水郡医師会の令和8年度当初予算案について説明します。

正式な予算案は、協議事項1の「公益社団法人出水郡医師会令和8年度当初予算(案)」になります。広域医療センターにつきましては尾原課長、第二病院につきましては飛松事務長から説明がありましたが、その他の事業を含めた医師会全体の予算案について、別紙「予算書(案)説明資料」とプロジェクターを使って要点を説明させていただきます。

予算案の説明をするにあたって、重要と思われる4つの項目について資料を作成しました。まずローマ数字Iで医師会全体の予算の概要を報告します。

次に2で予算が公益法人の財務基準を満たすかを確認し、3で予算上の損益予算から資金収支の予算ではどう変化するかを見ていき、最後に4で資金上の損益分岐点がどこにあるかを見ていきたいと思っております。

医師会全体予算①は、収支相償基準もその他の財務基準もすべて満たしています。この財務三基準に大きな改正がありまして、収支相償は中期的収支均衡という基準になり、損が出たら5年繰り越すことが可能になりました。他の基準も5年平均で満たせばよいということになり、財務基準はかなり緩和されました。

そこで先ほどの正味財産予算に戻りまして、正味財産予算を資金収支予算に展開したものが、この③ページの表になります。資金に置き換えると5億1,400万円のマイナスになり、そんなに資金が減るのか、資金が足りないのかと思われるので説明を加えたいと思っております。

④ページで、まず先ほどの経常増減額マイナス3億4,800万円です。これにお金の出

ない費用である減価償却費や賞与と退職金の引当金額から実額に合わせます。そうしますと、その他の項目を加えた矢印の事業活動による収支差額になります。予算どおりとなれば出水郡医師会の事業活動収支差額は1億8,400万円のプラスで推移します。

銀行返済などの財務活動収支差額を加えると資金的には1,700万円の赤字に転じ、投資を加味すると5億1,400万円の資金が減る見込みとなっています。資金を減らす最大の理由は、見ておわかりのように設備投資なわけですので、この収支資金予算を次のようにわけて考えてください。医師会の事業活動に、返済することが約定で確定している銀行返済やリースの支払までの資金収支と設備投資による資金収支とにわけて考えてください。まず前半部分の普通の医師会活動による資金収支による資金の目減りは5,800万円です。これについては何とか広域医療センターと第二病院を中心に実績を頑張つて、トントンまでもっていくようにしてください。ではこの5,800万円をトントンにもっていくためには、あとどれくらい医師会全体として事業活動収入があればよいかを見ていきたいと思います。

⑤ページの資金ベースの損益分岐点図表を見てください。資金収支予算で計算しますと、資金収支上トントンとなるポイントは61億400万円になります。資金収支予算上の事業活動収入は60億300万円ですので、年間で7,100万円足りないことになります。それを月に直すと600万円です。月間に600万円、事業活動収入が増えると収支トントンのレベルまで達することが可能になるという計算が成り立ちます。この計算は、もちろん予算上より固定費がこれ以上増えない、変動費率が上昇しないことを前提としています。

また前のスライド④ページに戻りまして設備投資の資金です。今回は5億円の電子カルテの投資を予定されています。過去の積立額が2億円ありますので実質3億円になるのですが、それと電子カルテ以外の設備投資とあわせて4億5,500万円になります。これらの設備投資により予算では大きく資金が目減りすることになっているわけです。

今回これらの投資を全額自己資金で、8年度の1年間で実行すると多額の資金が減る結果になるというものですので、まず今回の予算であがっている設備投資に関しましては、まず投資に優先順位をつけます。絶対必要なもの、投資をして見返りが期待できるものから優先し、電子カルテの更新は、実行せざるを得ないでしょうから、特にこの投資に関しましては、外部資金、銀行借入かリース、割賦を検討し、使用期間に応じた返済計画により支払わないと資金が回らないと考えます。

前提の話になりますが、経常増減予算額がマイナスからスタートしてますが、実際の経常増減額がマイナスですと正味財産を減らすことになり、一般の会社で言うところの自己資本を減らすということを意味します。

以上を持ちまして出水郡医師会の8年度予算案の説明を終わります。

(黒木副会長) 広域の人件費の比率は何%か。

(尾上部長) 58%です。

(黒木副会長) 58%位、第二病院が67%。朝倉先生人員不足は、まだあるんですか。  
第二病院は、外国人を雇うという話は。

(朝倉理事) ですね。なかなか。

(黒木副会長) 人員は全然足りてない。外国人を何人雇うのか。

(飛松事務長) 6人です。

(黒木副会長) その人件費も入っているのか。

(飛松事務長) はい、入っています。

(朝倉理事) 派遣の人がいるのか。

(黒木副会長) 派遣が今何人いるのか。

(飛松事務長) 7名です。

(朝倉理事) しかし、派遣は、契約で患者さんに直接介助はできない。

(黒木副会長) 直接介助できないなら何をしているのか。

(朝倉理事) 介護助手のような雑用をしている。

(飛松事務長) 外国人が入ってきたら派遣を辞める。

(黒木副会長) それでトントンという事ね。その人件費は、予算に入れてあるという事ね。

(飛松事務長) はい。

(黒木副会長) 1年位は、派遣と外国人と併用で使って、その後に派遣を辞めさせる。何年間。

(飛松事務長) 技能実習生は、5年間で、派遣は、月単位の契約である。

(黒木副会長) 慣れるのに半年くらいはかかるよね。介護の事業所の人件費は、一般的に7割近い。

(小林税理士) 7割を超えると厳しい。

(黒木副会長) 第二病院は、介護系になるから人件費が高くなる。収益が足りてない。月に2ベット位増やせば、91%と95%、91%を95%にするには何人必要か。

(飛松事務長) 二人です。

(黒木副会長) 介護医療院の95%を97%にするにもあと二人くらいか。

(飛松事務長) 介護医療院を満床にするためには、70人なのであと二人くらいである。

(黒木副会長) 月4人、月4人増えたらだいぶ違うね。日当点は幾ら位か。

(飛松事務長) 日当点は、介護医療院が17,800円位、医療病棟が22,000円位です。一人当たり30日入院していれば60万円位になる。

(黒木副会長) 月に200万円位、年間2,400万円位上がる。そしたらだいぶいい。

(飛松事務長) 今回は、これまでの実績をもとに予算を組んでいますので。

(黒木副会長) 来仙会長が言われるように実情に合わせたのがこれということ。

(来仙会長) 介護医療院は、患者さんの手出しが多いらしいですね。家族が払う分が。負担金ですね。

(黒木副会長) まんまと国の施策にのってしまった。まだ介護療養型医療施設で続けているところは続けているのではないか。

(朝倉理事) もうない。2年位前にすべて廃止になった。

(黒木副会長) 潰れてしまっておいた方がよかったかな。そんなことはない。

(来仙会長) 第二病院は、外国人の住宅はどうなっているのか。

(飛松事務長) 住宅は、仲介業者が見つけて、その費用は、外国人本人が自分達で払うことになっている。

(黒木副会長) 管理費が月に一人4万円位か。

(飛松事務長) 月に一人2万円位です。

(来仙会長) 最初だけかもしれませんよ。その内だんだんと。

(黒木副会長) 国と国との規定で取れないようになってきているのだが。今後アジアからは人が入って来るかどうか分からない。競争相手が多すぎて。円安だから、ヨーロッパで働いた方が金になる。アメリカは物価が高いから。他に。最後、月々幾らだっけ。

(来仙会長) 月々600万円。

(黒木副会長) 月々600万円、1日20万円。

(来仙会長) そんなに難しい金額ではない。

(黒木副会長) 広域の日当点が6万円から7万円位か。

(尾上部長) 急性期が6万5千円位ですね。

(内匠理事) 入院がここ数ヶ月満床です。あと、外来が下がっているの、600万円程度来年度外来で何とかできればいいところです。患者さん自体はいるので。

- (黒木副会長) 電カルを入れなければいいってのはなし。5億浮くって話である。
- (新富理事) 広域は、もう伸びしろはありませんでしょ。
- (来仙会長) 外来は、眼科とか耳鼻科とか紹介してもらえると結構上がる。
- (黒木副会長) 形成外科の先生もおられる。
- (内匠理事) 形成外科は、今月二回の診察であったが、4月から毎週になる予定にはしている。
- (新富理事) 眼科は、手術件数がもっと伸びる余地はあるのですか。
- (内匠理事) 眼科は、昨年の秋から月曜日だけでなく、水曜日もしていただけるようになっているので、今年度よりもう少し増えるかとは思う。その為に簡易で測れる眼圧計も購入した。
- (黒木副会長) 長期処方が多くないか。
- (内匠理事) 元々2カ月とかになっている方も多いので、中々それを1ヶ月に変更するのは難しい。
- (黒木副会長) あとは、運営委員会で話をしましょう。

原案どおり了承。

## 2. 令和8年度「親子ふれあい健康教室」の実施について

標記の件、2市1町の教育委員会に希望を伺ったところ、阿久根市教育委員会より山下小学校と脇本小学校の両校の申し出がありました。どちらの学校で開催するか、ご協議頂きたい。なお、出水市・長島町は回答期限までに回答なし。

(過去の実績)

平成30年度：出水市立蔵島小学校    令和2年度：出水市立上場小学校  
令和6年度：出水市立出水小学校    令和7年度：長島町立蔵之元小学校

山下小学校で行うことで了承。

## 3. 令和8年度肺炎球菌ワクチン予防接種（定期接種）の接種費用について

標記の件、令和7年10月理事会にてご協議頂き、下記の通り例年通りでご承認頂きましたが、先日、厚生労働省より対象ワクチンを20価のみとし、23価は対象外とする旨、指針があり、それに伴い出水市より接種料の変更の依頼がありましたので、ご協議願いたい。なお、現在、協力医療機関の取り纏めのアンケート中であるが、再度アンケートを取り直すこととなる。

記

### 【高齢者(成人)用肺炎球菌ワクチン予防接種】

|       |                                                                                                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対 象 者 | 高齢者肺炎球菌ワクチンの接種対象となる者。<br>接種方法・ワクチン管理は、例年どおり。                                                                                                                                |
| 実施期間  | 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで                                                                                                                                                       |
| 接 種 料 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1人1回当たり7,700円（公費負担5,200円 自己負担2,500円）</li> <li>● 被保護世帯員については、全額(7,700円)公費負担（要証明書）</li> <li>● 予診のみで接種出来なかった場合は1,500円を公費負担</li> </ul> |

↓

|       |                                                                                                                                                                               |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 接 種 料 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1人1回当たり11,400円（公費負担8,000円 自己負担3,400円）</li> <li>● 被保護世帯員については、全額(11,400円)公費負担（要証明書）</li> <li>● 予診のみで接種出来なかった場合は1,500円を公費負担</li> </ul> |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

了承。

4. 令和8年度RSウイルス予防接種（定期接種）の接種費用について

標記の件、令和7年10月理事会にてご協議頂き、下記の通り例年通りでご承認頂きましたが、先日、出水市よりRSウイルス予防接種がA類疾病定期予防接種に追加となり、接種料が他の予防接種を同額になる旨、連絡があったので、ご協議願いたい。なお、現在、協力医療機関の取り纏めのアンケート中であるが、再度アンケートを取り直すこととなる。

記

【A類疾病定期予防接種】

|       |                                                                                                                   |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対 象 者 | 麻しん風しん混合、麻しん、風しん、二種混合、四種混合、五種混合、日本脳炎、BCG、ポリオ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎ワクチン、ロタウイルスの接種対象となる者。<br>接種方法・ワクチン管理は、例年どおり。 |
| 実施期間  | 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで                                                                                             |
| 接 種 料 | 1人1回当たり3,400円（問診のみは2,500円）とする。                                                                                    |



|       |                                                                                                                                   |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対 象 者 | 麻しん風しん混合、麻しん、風しん、二種混合、四種混合、五種混合、日本脳炎、BCG、ポリオ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎ワクチン、ロタウイルス、 <b>RSウイルス</b> の接種対象となる者。<br>接種方法・ワクチン管理は、例年どおり。 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

了承。

5. かごしまドクター便りの原稿執筆者推薦について

標記の件、令和7年11月の理事会において、ご協議頂き、県医師会に状況を確認して回答する旨、決まりましたが、先日、再度依頼が来ておりますので、ご協議願いたい。

内 容

鹿児島県医師会では、疾病や治療法等について医療現場のエピソードを交えて広く一般の方々に分かりやすく説明することを目的として、毎月第3水曜日の南日本新聞紙上に「かごしまドクター便り」を連載して、執筆者は、これまで県医師会役員や鹿児島大学医学部の先生方等を中心にご依頼しているところですが、令和8年6月以降の掲載分については、郡市医師会の役員の先生方にも広くご執筆を賜ることとなり、執筆者の推薦依頼が来ておりますので、ご協議願いたい。

1. テーマ 疾病や治療法等について医療現場のエピソードを交えて一般の方々に分かりやすい記事をご寄稿いただきたく存じます。
2. 文字数 800字 ※肩書き、「◆第3水曜掲載。」の文言を含む
3. 顔写真 1枚

会長一任ということでした承。

6. 第34回北薩5医師会親善ゴルフ大会競技委員の推薦について

毎年恒例の標記大会が、来年度も以下の通り開催が予定されており、大会実行委員には会長に就任、競技委員について各医師会から1名の推薦依頼が来ておりますので、ご協議願いたい。

今年は、伊佐市医師会が担当。

日 時 令和8年4月29日(水・昭和の日)

午前9時04分 (OUT スタート)  
場 所 さつまゴルフリゾート  
競 技 ダブルペリア方式  
人 員 6組 (24名)  
参加費 3,000円 (グリーンフィ・キャディフィは自己負担)  
表彰式並びに懇親会： 競技終了後、クラブハウス内で開催する予定。

中村副会長を推薦することです承。

7. 阿久根看護学校の現状について

来仙会長

別添[資料7] 参照

今年の新入生が非常に激減していて、いつも准看護学校を卒業した学生たちが結構そのまま阿久根の看護学校に進学してくださるというパターンだったが、近年非常に少なくなっている状況が見てとれる。いつも問題なのは、平成27年はだいたい120人定員に近い、ほぼ定員に達そうとしても、2千数百万円の赤字が出る状況だったが、令和5年度、6年度はやはり学生が激減することによって、6千万円程度くらいの赤字が生じている。令和7年度、8年度、色々と出費をおさえたりしているが、やはり数字的には厳しい予測がたつ。学生減と収支状況を合わせて見たときに、数年後の運営をどうしていくかということも考えていかなくちゃいけないと、いつも運営委員会で感じている。准看護学校も2千万～3千万円の赤字が出ているが、まだ准看護学校はなんとかしてよその地域から1人2人来ていただく可能性も垣間見えるが、阿久根の看護学校に関しては、非常にどこの学生さんも出してくださらずに、大変な状況にあるということを先生方にもご覧いただいて、次回の総会の時に何かもし大きな原因になったときに、今後参集いただいて色んなご意見をいただければと今回はその発端とさせていただいた。

(黒木副会長) ある程度、理事会で方針決めて総会にかけないと、意見はなかなかでない。

(来仙会長) 今日は2月なんで3、4、5月と色んな率直なご意見をお伺いいただければと思う。

(中村副会長) 人数が少なくても、出水地区からその人たちが入ってきて、出水地区の看護学校に進学したり、出水地区に就職してくれるのだったら良いが、この前の准看学校の資料を見ても高看に残るのは8人中4人、その人たちが出水に残る人たちだから、他の地区みんな帰っちゃう。そのためにこれだけの赤字が出るのはどうなのかなと思う。8人いても8人が出水地区に残ってくれるならやる意義がある。

(来仙会長) 広域医療センターにいつもおんぶだっこな状態なので。

(中村副会長) 半分は阿久根看護学校に進学されて、高看後に務めて広域にも務めてとなれば、やれないとは思わないが、比率として、人数も少ないというものもあるけど、少ない人数の中でも出水に残る比率が大分低いと思う。

(内匠理事) 今週の二次募集が0人ということで、副校長もあちこち募集の電話をかけていただいてもなかなか准看護師もいない。いたとしても、ご高齢でも今から看護師の資格取るというのは・・・と「検討してみます」とお返事すらなかなかもらうことが難しい。三次四次は予定しているが、そちらも実際応募があるかどうかは厳しい。

(来仙会長) 准看護師の資格を取っていて、今通信教育で正看取れたりして、そういう方向に流れている人たちが多いらしい。中々壁が高いなど感じる。また時間かけて先生方のご意見を預かって検討していきたい。

(黒木副会長) やめたら開校できなくなるのが一つ、それと出水からの看護師養成が一人もいなくなる。地区的に医者さんがどんどん少なくなってきて、受診患者数があと15年くらいしたら大分減って、介護は増えるが、必要以上に従業員数が段々減っていくだろう。そこまで全部統計出して。データがあるから。川内もレギュラーにして3.4年は大変で、今クラウドファンディングをしていて、行政からの補助金が結構入っている。出水は看護学校あって、阿久根はないから攻めどころじゃないか、地域再生基金とか。でも微々たる金。毎年、何十年も前から、出水地区医療問題協議会で看護学校の補助金をお願いしたがまったく出なかった。それでも見てもわかるように、定員に満たしても赤字。ただ阿久根と第二での収支におんぶにだっこでいいのか。総会でもしできそうなら、ある程度会員で出す。第二病院とか広域医療センターを作ったときには会員負担金が少しあった。それを復活して医師会に負担金あげるとかして、少しでも看護師を養成していく。一遍事業を閉めてしまったら大事になるが、全国会議で言ったら赤字でも続けるといったら北海道の先生にめっちゃくちゃ怒られたけど。検査センターや共同利用施設はどんどん閉めて、結局は段々民間が高くなってきて、どこかでしないといけないと思って、日本医師会や県医師会で言っている。そこも先生方皆真剣に考えていただいて。出水とか阿久根の学生上がりの人たちが多いでしょ。そこまで考えてもらいたい。

(來仙会長) 野田女子高校の現状を今度データで持っていく。

(黒木副会長) 阿久根は准看の資格持っとかないといけない。そこが一番ネック。でも医師会立の准看護学校は今ここだけで、全部やめた。前は12個くらいあった。鹿児島市や始良市にもあった。時代に乗ると辞めるしかない。

## 8. その他

令和8年1月13日

(出席された理事・監事全員にご署名・押印いただくこと  
になります。)

|   |     |   |
|---|-----|---|
| 会 | 長   | 印 |
| 副 | 会 長 | 印 |
| 副 | 会 長 | 印 |
| 理 | 事   | 印 |
| 理 | 事   | 印 |
| 理 | 事   | 印 |
| 理 | 事   | 印 |
| 理 | 事   | 印 |
| 理 | 事   | 印 |
| 理 | 事   | 印 |
| 監 | 事   | 印 |

次回理事会 … 令和8年2月10日(火) 19:30～ 予定